

《基本編 模範解答》

設問	解答										配点		
①	(1)	ウ	(2)	イ	(3)	エ	(4)	オ	(5)	ア		2点	
②	(1)	イ	(2)	ウ	(3)	ウ	(4)	ア	(5)	イ	(6) ウ		
③	(1)	brother		(2)	November		(3)	Thursday		(4)	difficult		
④	(1)	ア・イ		(2)	ア・エ		(3)	エ・ウ		(4)	ア・エ		
⑤	(1)	疑問文	Do your sisters have five cars?										3点
		答え	Yes, they do.										
	(2)	Please go to the station. (Go to the station, please.)											
	(3)	Who are you?											
	(4)	How many dogs do they have?											
	(5)	I want an (one) apple.											
	(6)	I do not (don't) eat eggs every day.											
(7)	You are not (You aren't) (You're not) an English teacher.												
⑥	(1)	is / big											
	(2)	a / lot / of											
⑦	(1)	Nice / to / meet / you											
	(2)	How / are											
	(3)	Excuse / me											
	(4)	Thank											
⑧	(1)	①	Yes / I / am										
		③	Yes / I / do										
	(2)	②	Many students clean the park on										
	(3)	④	tennis										
(4)	イ												

《解説》

① (1) how many + 複数形「いくつ」(数をたずねる) (2) What day is it today? 「今日は何曜日ですか。」
 (3) what 「何」 (4) what time 「何時」 (5) where 「どこ」

② (1) 「1つ、2つ…」と数えられるものが1つあるとき、その単語の前に a(an) を付ける。
 → old bag が単数なので an old bag を選ぶ。
 ※ 発音が [ア・イ・ウ・エ・オ(母音)] で始まる単語の前では a ではなく an を使う。
 (2) books が複数形なので a(an) は選べない。
 (3) eggs が複数で肯定文なので some を選ぶ。
 (4) 「1つ、2つ…」と数えられるものが1つあるとき、その単語の前に a(an) を付ける。
 → pen が単数なので a pen を選ぶ。
 (5) ▶ play the 楽器 「楽器を演奏する」
 (6) Tom 「トム」という人名を表す単語の前には a(an), the はいらない。

③ (1) mother 「母」 ⇔ father 「父」 sister 「姉・妹」 ⇔ brother 「兄・弟」
 (2) 6月 = June 11月 = November
 (3) 月曜日 = Monday 木曜日 = Thursday
 (4) tall 「背が高い」 ⇔ short 「背が低い」 easy 「簡単な」 ⇔ difficult 「難しい」

④ (1) Let's study English in the library. (エアウイオ) ▶ let's ~: 「~しましょう」
 (2) Some students don't read books. (ウアイエオ) ▶ some ~: 「~する人(もの)もいる(ある)」
 (3) What sport do you like? (アエイウオ) ▶ what + 名詞 ~: 「何の~、どの~」
 (4) That is a nice bag. (イアオエウ) ▶ That is ~. : 「あれは~です。」

- 5 (1) 主語が **your sisters** で一般動詞の疑問文なので **Do** を主語の前におく。
答えの文では **they** 「彼女らは」を用いる。
- (2) 「～してください」という意味の文は、主語の **You** をとり、「**Please + 動詞の原形**」の形にする。
- (3) ▶ **who** : 「誰」 人についてたずねる表現
- (4) ▶ **how many + 複数形** 「いくつ」 数をたずねる表現
- (5) 「1つ、2つ…」と数えられるものが1つあるとき、その単語の前に **a(an)** を付け、複数形の **s(es)** をとる。
- (6) 主語が **I** で一般動詞の否定文なので **don't (do not)** を動詞の前におく。
- (7) 主語が **You** で **be** 動詞の否定文なので **not** を **be** 動詞の後ろにおく。

- 6 (1) 「私は大きいかばんを持っています。」 = 「私のかばんは大きいです。」
- (2) **many = a lot of** 「たくさん」

- 7 (1) 初めまして (あなたにお会いできてうれしいです)。: **Nice to meet you.**
- (2) お元気ですか。: **How are you?**
- (3) すみません (ちょっと失礼します)。: **Excuse me.**
- (4) ありがとう。: **Thank you.**

- 8 (1) ① 3行目: 【太郎】「アリス、あなたは日曜日ひまですか。」
5行目: 【太郎】「すばらしい。私と公園に行きましょう。」
この2つの太郎のセリフから、アリスは肯定の返事をしたと考えられるので、答えは **yes** となる。
▶ **Are you ~?** 「あなたは～ですか。」で聞かれたら、**Yes, I am. / No, I am (I'm) not.** で答える。
- ③ 12行目で太郎は「私はスポーツがとても好きです。」と言っているので、答えは **yes** となる。
▶ **Do you ~?** 「あなたは～しますか。」で聞かれたら、**Yes, I do. / No, I do not (don't).** で答える。
- (2) 並べかえた文の日本語訳「たくさん生徒が日曜日に公園を掃除します。」
- (3) ④ 14行目: 【太郎】「私の母と妹はテニスがとても好きです。私もそれを彼女らとします。」
- (4) ア 3~6行目で太郎とアリスは日曜日に公園へ行く約束をしているので不一致。
イ 7行目で太郎は「だからいつもそれ(緑公園)はとても美しい。」と言っているので内容に合う。
ウ 12行目の太郎の質問に対してアリスは **Yes** と言っているので不一致。
エ 本文中にこのような記述はない。
オ 本文中にこのような記述はない。

《発展編 模範解答》

設 問	解 答											配 点	
①	(1)	エ	(2)	ア	(3)	オ	(4)	ウ	(5)	イ	(6)	カ	各2点
②	(1)	ウ	(2)	イ	(3)	ア	(4)	ウ	(5)	ア	(6)	イ	
③	(1)	ア・ウ		(2)	ク・ウ		(3)	イ・ウ		(4)	ウ・カ		
④	(1)	daughter		(2)	December		(3)	Thursday		(4)	short		
	(5)	ninth		(6)	winter		(7)	library		(8)	student		
⑤	(1)	has											
	(2)	knows / no											
	(3)	an / interesting											
	(4)	her / desk											
	(5)	their / teacher											
	(6)	good / at											
⑥	(1)	疑問文	Does Takashi write many books?										
		答えの文	No, he doesn't (does not).										
	(2)	Don't be late for school											
	(3)	What is Kumi doing											
	(4)	She plays the piano after school.											
	(5)	She is not (She isn't) (She's not) eating breakfast now.											
(6)	What is the date today												
⑦	(1)	her		(2)	him		(3)	ours		(4)	swimming		
	(5)	likes		(6)	run		(7)	study					
⑧	(1)	①	reading				③	cities					
	(2)	②	ア				④	エ					
	(3)	Thank / you											
	(4)	a	Yes / she / is										
b		It / is / Satoshi											

《解説》

- ① (1) who 「だれ」 (2) when 「いつ」 (3) where 「どこ」
 (4) how much 「いくら」 (5) how many + 複数形 「いくつ」 (6) what time 「何時」
- ② (1) 主語が he なので is を選ぶ。
 (2) 一般動詞があるので be 動詞は使えない。一般動詞の watch があり主語が I なので do を選ぶ。
 (3) 一般動詞がないので don't や doesn't は使えない。主語が複数なので aren't を選ぶ。
 (4) Mike の後にコンマがあるので呼びかけ。否定の命令文は don't + 動詞の原形で表す。
 (5) 疑問文の主語が you (あなたたちは) なので代名詞 we (私たちは) を使って答える。
 (6) cooking があるので be 動詞を選ぶ。※be 動詞 + ~ing → 現在進行形「~しているところだ」
- ③ (1) One of my friends in Canada likes soccer very much. (カイアキウオエ) ▶ one of 複数 「~の一人」
 (2) I always eat lunch in the park near my house. (カエクキウアイオ) ▶ always 「いつも」
 ※頻度を表す副詞は一般動詞の前、be 動詞の後に置く。
 (3) What language do they study at school? (オエイカウア) ▶ what + 名詞 「何の~、どの~」
 (4) She helps her brother with his homework. (キオウイカアエ) ▶ help ① with ~ 「①の~を手伝う」

- 4 (1) uncle 「おじ」 ⇔ aunt 「おば」 son 「息子」 ⇔ daughter 「娘」
 (2) 7月 = July 12月 = December (3) 日曜日 = Sunday 木曜日 = Thursday
 (4) easy 「簡単な」 ⇔ difficult 「難しい」 tall 「背が高い」 ⇔ short 「背が低い」
 (5) ten (基数) : tenth (序数) nine (基数) : ninth (序数) (6) 夏 = summer 冬 = winter
 (7) 病院 = hospital 図書館 = library (8) 先生 = teacher 生徒 = student

- 5 (1) 「トムの目は青いです。」 = 「トムは青い目をして (持って) います。」
 (2) 否定文 any … = no … 「まったく…ない」
 (3) 「この本はおもしろいです。」 = 「これはおもしろい本です。」
 (4) 「あの机は彼女のもので。」 = 「あれは彼女の机です。」
 (5) 「佐藤先生は彼らに数学を教えます。」 = 「佐藤先生は彼らの数学の先生です。」
 (6) 「タケシはバスケットボールを上手にします。」 = 「タケシはバスケットボールが得意です。」
 ※well 「上手に」 be good at ~ 「～が得意だ」

- 6 (1) 三人称単数現在形の動詞の疑問文は does を主語の前におき、動詞は原形にする。主語が Takashi なので、答えの文では he 「彼は」 を用いる。
 (2) 「～してはいけません」という文は、主語の You をとり、「Don't+動詞の原形」で始める。
 (3) 下線部が studying まで引かれているので「クミは何をしていますか。」という意味の文にする。
 (4) 主語が She (三人称単数) で現在形の文なので、動詞に s をつける。
 (5) 現在進行形の文は「be 動詞+～ing」で表す。主語が she で単数なので、be 動詞は is を使う。
 ※もとの文が否定文なので、否定文にする。
 (6) What is the date today? 「今日は何月何日ですか。」

- 7 (1) 「ピーターと彼女の姉 (妹) はとても背が高いです。」 ▶ her 「彼女の」
 (2) 前置詞の後に代名詞を置く場合は目的格 (「～を、～に」の形) にする。
 (3) 「これらのコンピュータは私たちのものですか。」 ▶ ours 「私たちのもの」
 (4) be 動詞があるので、「～しているところではありません。」という意味の現在進行形 (be 動詞+～ing) の文にする。 ※swim の ing 形→swimming
 (5) 主語が Every member (三人称単数) で現在形の文なので、動詞に s をつける。 ※every は単数扱い。
 (6) 助動詞 can の疑問文なので、動詞は原形を使う。 ▶ Can 主語 動詞の原形? 「(主語) は～することができますか。」
 (7) doesn't の後は動詞の原形を使う。

- 8 (1) ①直前に be 動詞の am があるので、「be 動詞+～ing」の現在進行形の形にする。
 ③直前に many 「たくさんの」という語があるので、複数形にする。
 city の複数形→cities ※子音字+y の単語の複数形→y を i に変えて es をつける。
 (2) ②8行目2文目の訳「彼は昨日東京から大阪へ帰ってきました。」 ▶ from ~ 「～から」
 ④14行目3文目の訳「あなたのおじはここへ5時に来るでしょう。」 ▶ at +時刻 「～時に」
 (3) ⑤Thank you very much. 「どうもありがとう。」
 (4) a. 3行目2文目で直美のお母さんは「私は台所にいます。」と言っているので、答えは Yes となり、主語が Naomi's mother なので代名詞 she に置き換えて答える。
 b. What is the name of Naomi's uncle? 「直美のおじの名前は何ですか。」
 8行目1文目で直美のお母さんが「あなたのおじのサトシです。」と言っている。
 疑問詞を使った英文に対しては、主語、動詞を用いて答える。
 主語は the name なので代名詞 it に置き換えて答える。